

日本文化研修「芦屋歴史民俗資料館、芦屋釜の里」

6月6日(火)、九州共立大学所属および九州女子大学所属の短期留学生11名と九州共立大学の留学生12名は、「芦屋歴史民俗資料館」と「芦屋釜の里」での研修を行いました。まず、「芦屋歴史民俗資料館」で学芸員から、芦屋出土である古代から現代に続く遺物や民俗資料などの説明を聞くことにより、芦屋町の古い時代のイメージを思いうかべることが出来ました。

「芦屋釜の里」では茶室や日本庭園と釜の里資料館を見学しました。

始めに、毛氈に正座し、職員の方から、お辞儀の仕方やお抹茶のいただき方を習い、季節を映した和菓子と一緒に抹茶をいただきました。初めて抹茶をいただいたという学生が多く、初めてのお抹茶の苦みに戸惑いの表情をのぞかせながらも、甘みのある和菓子との調和に驚き、感動していました。また、茶室や茶器だけではなく、所作までもが美しく素晴らしいと感じたそうです。そして屋内から見える、自然の美しさを表現した日本庭園にすっかり魅了された様子でした。



その後、「芦屋歴史の里資料館」では、400年前に途絶えた茶の湯の釜「芦屋釜」作りの伝統の技や釜の高価さ、芦屋周辺の海で発掘された品々や中国・韓国との関係についてなどを説明していただき、大変重厚な歴史を実感しつつ帰校しました。

今回の研修で、慣れない正座に苦戦した学生もいましたが、これも日本文化の貴重な体験となったようです。茶道という日本の代表的な伝統文化に触れる事ができ、とても良い時間を過ごすことができました。